

平成26年度 第1回花巻市文化財保護審議会会議録

(記録)

日時：平成26年5月14日(水) 午後4時～5時

会場：花巻市役所 石鳥谷総合支所 3階3-2・3-3会議室

----- 次 第 -----

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 協議
(1) 会長及び副会長の選出
(2) 平成26年度文化財関係事業計画について
- 4 その他
- 5 閉 会

委員11名中8名出席

(花巻市文化財保護審議会条例第4条第2項により会議は成立)

会議の内容(概要)は、以下のとおり。

配布資料の確認(千葉課長)

委嘱状交付(佐藤教育長)

教委職員自己紹介

- 1 開 会 16:00～

千葉課長

- 2 教育長あいさつ(要旨)

本年度も市内文化財の調査・保護・活用についてご指導ご協力いただけるようお願い申し上げます。本年度の文化財保護審議会委員には、新しく地質の分野で照井一明委員と考古分野では中村良幸委員をお迎えすることができました。また、文化財課でも課長以下4名の職員が人事異動で変わったので、よろしく願います。

埋蔵文化財担当職員3名は、昨年より継続している小瀬川I遺跡の業務のため本日欠席している。小瀬川I遺跡は縄文中期の大きな遺跡で、昨日板状土偶など遺物が出土し、現場から離れられないのでご理解いただきたい。

今回の審議会では新たな会長、副会長を選出していただき、新年度の事業計画を承認いただきたい。また、文化財保護全般について、ご意見を賜りた

い。

3 協 議

(1) 会長及び副会長の選出

千葉課長進行：会長の互選をお願いします。

木村委員：長年文化財保護審議会委員を務められてきた菊池邦雄委員を推薦する。

千葉課長：木村委員より菊池邦雄委員が推薦されたが、いかがか。

全委員：異議なし。

千葉課長：満場一致で菊池委員に会長をお願いします。

続いて副会長についてをお願いします。

中村委員：副会長には木村委員を推薦する。

千葉課長：副会長には木村委員でよろしいか。

全委員：異議なし。

菊池委員、木村委員が、会長、副会長席へ移動

(2) 平成26年度文化財関係事業計画について

資料2により事務局説明（説明内容省略）

文化財課重点施策について、千葉課長説明

一般文化財関係事業計画について、大内係長説明

埋蔵文化財関係事業計画について、高橋係長説明

○質疑応答（主なもの）

中村委員：みちのく神楽大会に出演の話が来ているのは御嶽神楽

千葉課長：由布市の庄内神楽

中村委員：由布市と博物館（文化財センター）で資料を介した交流があり、花巻市の神楽大会等へお呼びしたいという話をしていた経緯がある。

千葉課長：今回の話は観光課経由で来た。由布市のほうで神楽を通じた交流事業があり、その事業で日程が合えば花巻へ来たいという照会があったもの。石鳩岡神楽の方と交流があったためという話だが、石鳩岡神楽の関係者は、それほど由布市の神楽の方を知っているようではないようだ。

大森委員：進行について、事業計画を全部話されてもよくわからないので、小さく区切って話していただきたい。

菊池会長：重点施策から質疑応答を始める。

阿部委員：個人等所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修とは、具体的にどういうことか。

千葉課長：前回の保護審議会では話があった件で、市内にある指定文化財の確認作業を行う。

阿部委員：どのくらいの件数があるのか。

岡本：具体的な数値は調べていないが、指定文化財一覧の総件数279件中、市所有の文化財を差し引いた件数、約250件と推測される。

阿部委員：東和町内で個人が所有している全国的にも貴重な古文書類があるが、その所有者が代替わりしているので、理解ある跡継ぎならいいが、全く知らないでいる場合が多いので、今後保存に関して不安がある。せっかく受け継がれてきた貴重な古文書なので、何とか今後も問題なく受け継がれていく方策がないか、市でも考えてほしい。

菊池会長：石鳥谷の松林寺は別当の分家筋の家で管理しているが、ここも代替わりの時期で次の世代になりつつあり、きちんと引き継がれているのか不安がある。時々相談を受けるが、石鳥谷町の文化財なので町外へ持ち出すのもいかなものかという話もある。

阿部委員：ふるさと歴史資料館がこのような状態になると、どこに保管したらいいか、どういう形で記録を残したらいいか等、花巻市全体で方策を検討してほしい。急務だ。

大森委員：ノハナショウブの群落について。今後の管理をどうされるのか伺いたい。

千葉課長：12日に現地を見たが、現在田植えの時期で田んぼに水が優先されている。自然が相手なので、非常に難しい。職員だけでは対応しきれないので、地元保存会等に委託し、対応したいと考えている。

大森委員：この場所は圃場整備されて生育環境が制限されているので、委託程度では、ノハナショウブは消滅するのではないかと危惧する。もっと積極的に対応してほしい。

千葉課長：植物担当の大森先生とご相談させていただき、方策を検討していきたい。

阿部委員：文化財関連施設の再編について。ふるさと歴史資料館について、保護審議会委員の東和町出身者としてではないが、どうしても申し上げたい。一体どういう方向性を持って、ふるさと歴史資料館の再編を行う予定か。それから、これから話し合い等の機会が設けられると思うが、どのような方がメンバーに選ばれて、話し合いがなされるのか。

もう一つは、このような歴史資料館はただ展示するばかりでなく、資料の保管収集、企画展示等の開催も重要になる。瀬川館長が存命のころは、そのような活動を積極的に行っていた。だからふるさと歴史資料館には数多くの資料がある。これらの資料を、どのように整理し、どのように持っていこうとしているのか、その辺

について教えてほしい。

千葉課長：4月19日に、東和総合支所で地域の方々による話し合いがもたれたと聞いている。その方々と市議会議員や東和総合支所、教育委員会を交えた協議・話し合いの場を設けるよう、現在日程調整中である。まだ協議をしていない状況なので、詳細は不明だが、多くの資料の整理を同時に行いながら、協議を進めていきたいと考えている。

阿部委員：古文書についてはまだだが、多くの資料は整理しているはずである。4月の市長が東和支所で執務された時に、市長に直接お話ししたことだが、ふるさと歴史資料館で行っていた古文書解説会だが、最後の2回を東和図書館で行わざるを得なかった。なぜなら、ふるさと歴史資料館の会議室が高村記念会の資料でふさがれたためである。なぜ財団法人の資料がふるさと歴史資料館に搬入され保管されなければならないのか。

高橋係長：ふるさと歴史資料館会議室に搬入された資料は、花巻歴史民俗資料館の資料であり、高村記念会のものではない。また、会議室自体が老朽化して危険であるため、古文書解説会の会議室利用は危険だということで、ふるさと歴史資料館と協議し、代替えとして図書館利用に振り分けたものである。

ただし、物を置くだけならいいだろうと、花巻歴史民俗資料館の資料を置かせてもらっている。財団法人の資料ではなく、市所有の資料を保管している。

阿部委員：財団の資料ではないならいいが、いずれ、最後の古文書解説会を東和図書館で実施したことは遺憾である。

ふるさと歴史資料館の今までの実績を踏まえて、検討してほしい。

千葉課長：地域の方と協議を進めたいと考える。

大森委員：東和にある国指定天然記念物「カズクリ」について、クリの木に寄生する害虫（クリタマバチ等）が県内南部に侵入してきているので、この虫でカズクリが枯死しないよう十分気を付けてほしい。

菊池会長：その他質問があれば。

大森委員：私が植物研究を始めて以来50年分の植物標本等資料5万点ほどがあるが、これらを、私の死後どこに保管してもらったらいいか。市には植物関係の資料館がないので、岩手大学か東北大、その他研究機関にお願いするしかない状況だが、できればふるさとに残したい。花巻市に植物関係の資料を保管できる場所を考えてほしい。

佐藤教育長：ノハナショウブについては、圃場を作り増殖させようとした経緯もある。カズクリについても、どちらも国指定天然記念物なので、状況を精査して国・県等担当部署と協議のうえで方策

を検討したいと考える。

ふるさと歴史資料館については、15,000点強の資料があるが、これら資料の整理保管方法、寄託された資料などは、所有者が代替わりしていることもあるため、資料の検証を行う必要がある。また保管された資料が経年劣化している可能性もある。いずれにせよ、膨大な資料があるので保管場所を優先する必要がある。

資料館の建物については、耐震関係からそのまま使用することはできない。当面は、常設展はまだ見学できる。収蔵資料を使用した企画展示については、花巻市博物館で実施することを了承いただきたい。教育普及については、東和町内で実施する予定。

将来的には、東和町密着型で行ってきたふるさと歴史資料館の機能を維持することについては、地域の方々の意見を伺いながら検討していきたいと考えている。

当面は、東和町の方々から意見を聞きながら話を進めていきたいと考えている。

菊池会長：次に事業計画について。質問等あるか伺う。

菊池会長：その他、何かあれば発言願う。

阿部委員：南部たばこ資料館について、資料や展示はどうなっているのか。

高橋係長：南部たばこ資料館の展示については、現在作成している段階。資料は、大部分（劣化が危惧されるものを優先的に）を文化財センターの収蔵庫に保管している。昨年度の冬に共同企画展で、展示を行っている。このような機会を通じて展示していけるのではないかと考えている。

中村委員：たばこ資料館の資料については、予想以上に資料が多かったため、全部移動できていないのが実情

阿部委員：施設の資料を移すとなると、予想以上に大変な作業になるので、十分気を付けてほしい。何はともあれ、たばこ資料館の資料が保存されるのは喜ばしい。

中村委員：台帳がない資料はうかつに移動できないので、まず台帳整理してから対応する予定

4 その他

菊池会長：その他あれば、発言願う。何も無いようなので、以上で平成26年度の事業計画を承認されたものとする。

菊池会長：本日出た意見・要望については、今年度の事業実施に際して十分気を付けて対応されるよう事務局に要望する。

千葉課長：事務局からは特になし。

菊池会長：では、以上で終了する。

5 閉 会 17:00